

吉田研究室（環境経済学）

教員名：吉田謙太郎

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

環境問題は人々の日常生活と密接に関係しています。ところが、環境問題は、**人々の消費行動や企業の経済活動**の中で、軽視あるいは無視される傾向があります。環境経済学は、人々の日常生活に、環境問題を適切に位置づけるための方法を探求する学問です。

たとえば、珍しい生き物が生息していたり、すばらしい景観を誇る**世界遺産や国立公園**などに、人々は旅行に出かけますが、その維持保全にお金を支払う機会は少ないでしょう。また、**大気汚染や水質汚濁、放射能汚染**などの環境悪化を回避するために、人々が自ら進んでお金を支払う機会は多くありません。それでは、環境問題に対して社会はどのように対処してきたのでしょうか。このような環境問題は、そのまま放置しておいては解決できず、政府などが関与し、適切な状態に誘導する必要があります。

環境経済学研究室では、**環境と経済の関係を両立**させるための政策のあり方について研究しています。環境経済学の研究対象は、ツシマヤマネコなどの**希少な野生生物の保護・保全、気候変動と食料生産、適切な廃棄物処理のための費用負担**など多様です。当研究室では、とくに貴重な自然環境を将来世代に引き継ぐために、世界遺産や国立公園などの運営と利用に焦点を当てています。環境経済学研究室に来て、国際的な環境問題から身近な環境問題に至る多様な問題の解決策を探求しましょう。



フロリダのマナティ保護



生物多様性条約



小笠原諸島と世界遺産

● 先輩はどんなところに就職しているの？

銀行や流通業、メーカー、マーケティング、IT 関連などの民間企業、市役所などの官公庁に就職しています。また、3 年生での早期修了後、大学院に進学した優秀な先輩もいます。